東北学院大学　私立大学研究ブランディング事業シンポジウム

東北学院のステンドグラス

19世紀の中世復興と物質文化

Stained Glass in Tohoku-Gakuin
-19th century Medievalism and Material Culture-

1932年献堂のラーハウザー記念東北学院礼拝堂はネオ・ゴシック様式である。ステンドグラスはヴィクトリア朝ロンドンの代表的なヒートン・バトラー&バイン工房の制作である。プロテスタントの東北学院になぜ中世的あるいはカトリック由来の建築と美術が作られることになったのか？2011年の東日本大震災によって東北は未曾有の破壊を経験した。いまいちど19世紀イギリスの中世復興をめぐって物質文化について考える。

The chapel in Tohoku-Gakuin is in the Neo-Gothic style with a stained glass window made by a studio that became famous in Victorian London. By considering the role of medieval-style art within a Protestant university, this conference will reconsider the relationship between medievalism and material culture and reflect on its significance in the context of the unprecedented material destruction caused by the Tsunami in 2011.

2017年3月18日(土) 13:00～17:30

東北学院大学 土樋キャンパス 押川記念ホール

申込不要
入場無料

※駐車場がございませんので、ご来場の際は公共交通機関をご利用ください。

プログラム

講　師

高橋裕子（学習院大学教授）**「前置き：ヴィクトリア朝美術とは」**

Jim Cheshire（英国　リンカーン大学准教授）**「中世復興と19世紀イギリスのステンドグラス」**
Medievalism and Stained Glass in Nineteenth-Century Britain

鐸木道剛（東北学院大学教授）**「オリジナリティとコピー：中世の価値」**

コメンテーター

高野禎子（清泉女子大学教授）**「ゴシックのステンドグラス：実例より」**

谷隆一郎（九州大学名誉教授）**「東方教父とビザンティンの思想伝統をめぐって：その歴史的意味」**

主催

東北学院大学　私立大学研究ブランディング事業

お問い合わせ

〒980-8511 仙台市青葉区土樋1-3-1
東北学院大学　私学研究ブランディング事業係
Tel:022-264-6405
E-mail: branding@mail.tohoku-gakuin.ac.jp

東北学院大学土樋キャンパス案内図

交通機関
「仙台駅」よりタクシーで10分
地下鉄南北線「五橋駅」または「愛宕橋駅」から徒歩5分
バス停「五橋駅」から徒歩5分